

2025 年度上級審判員審査の体力・筆記試験の基準について



令和 7 年 4 月 1 日
(公財) 日本ハンドボール協会
審判審査専門委員会

2025 年度の上級審判員審査(A 級審査・B 級審査・レフェリーコース)、および全日本大会担当候補者研修会の体力検査・筆記試験における基準を以下の通りにします。趣旨およびその内容について周知をお願いします。

1 体力検査について

①シャトルランテストを実施します。

②合格基準は、すべての審査において、

男性 77 本 (レベル 9 の 5 本目)

女性 66 本 (レベル 8 の 5 本目) と定めます。

●理由：IHF (国際ハンドボール連盟) が求めている基準に合わせるため。

③A 級審査を受験する場合、体力検査は各ブロックで行われる「全日本大会担当候補者研修会」の場で行います。

●理由：A 級審査は実技試験の合格基準が高いため、受験生の体調面を考慮し、体力試験と実技試験を同一日には行わないこととします。気候的にも年度末に行われる研修会の時期が適当であると判断しました。また、A 級受験者は B 級資格取得者であるため、全日本大会審判員候補者と重複している場合もあります。したがって 1 回の体力検査を行うだけで済むように配慮しました。

2 筆記試験について

①IHF 方式である「加点・減点型」で実施。

例) 問題の選択肢が a b c d e の 5 つに対し、解答が a c d の 3 つの場合

1) a c d と正しく答えた場合 → 3 点を与える

2) a d と答えた場合 → 2 点を与える

3) a と答えた場合 → 1 点を与える

4) a b d と答えた場合 → 1 点を与える

b e 等 選べない解答をした場合は -1 にする。

この場合、a d を選択して 2 点 b を選択して -1 点となるため結果的に 1 点となる。

5) b e と答えた場合 → 0 点となる

各問題の最低点は 0 点とする。この場合は選べない 2 つの答えを選択しているが、-2 点とはならない。

②全正答選択数に対し

A 級 85%以上 B 級 80%以上 C 級 60% 以上とする。

例) 最終的に 25 問の正答選択が 35 個の場合

A 級 $35 \times 0.85 = 29.75$ (端数は切り上げる) → 30 点で合格

B 級 $35 \times 0.8 = 28$ → 28 点以上で合格

③問題集における、各条項からの出題数について下記の通り定めます。

第 1 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 2 条	・ ・ ・ ・ ・	2
第 3 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 4 条	・ ・ ・ ・ ・	3
第 5 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 6 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 7 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 8 条	・ ・ ・ ・ ・	3
第 9 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 10 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 11 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 12 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 13 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 14 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 15 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 16 条	・ ・ ・ ・ ・	2
第 17 条	・ ・ ・ ・ ・	1
第 18 条	・ ・ ・ ・ ・	1
交代地域規定	・ ・ ・	1

合計 25 問

●趣旨：各条文よりバランスよく出題しているということを周知するためです。

記述問題

※ (1) は、5 点で「1」点とする

(2) は、字数 2 点で「1」点とする

記述内容 8 点で「1」点とする

合計「3」点満点として、25 問の選択問題に加点し、合計点で判定する

④制限時間は、25 分とする

但し、各ブロックで行われる「全日本大会担当候補者研修会」の筆記試験は、審査会ではないので記述式のない 25 問の形式のものを使用する。制限時間は、20 分とする。